



# 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤオコー  
コード番号 8279 URL <http://www.yaoko-net.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川野 澄人  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 上池 昌伸

TEL 049-246-7000

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	245,580	—	13,842	—	13,561	—	8,824	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	227.26	—
27年3月期第3四半期	—	—

(注)1.当社は、平成27年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、平成28年3月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成27年3月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

なお、個別業績の前年同四半期との比較は、添付資料P.7「4. 補足情報」に記載しておりますので、ご参照ください。

2.当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行なっております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	142,056	67,803	47.7	1,746.25
27年3月期	129,501	60,694	46.9	1,563.13

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 67,803百万円 27年3月期 60,694百万円

(注)当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行なっております。前事業年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行なっております。平成28年3月期(予想)における期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

## 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	324,000	9.5	13,800	11.6	13,480	7.0	8,900	4.2	229.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行なっております。平成28年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	40,013,722 株	27年3月期	40,013,722 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	1,185,847 株	27年3月期	1,185,294 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	38,827,960 株	27年3月期3Q	38,828,742 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して、「(3)発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は、平成27年4月1日付で連結子会社でありました株式会社三味を吸収合併したことにより、連結子会社が存在しなくなったため、当事業年度(平成28年3月期)より連結財務諸表非作成会社となりました。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
4. 補足情報 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成27年4月1日付で、連結子会社でありました株式会社三味を吸収合併いたしました。

これにより、当社は、当事業年度（平成28年3月期）より、連結財務諸表非作成会社となったため、前年同四半期の損益数値及びこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行なっていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における経済環境は、景気が緩やかな回復基調で推移する一方で、実質消費支出が伸び悩むなど、個人消費は依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、景気回復に伴う雇用環境の変化により人材採用が困難な状況が続く一方、円安や原料高を背景とした食料品価格の上昇、建築・資材コストの増加、食品の安全・安心に対する懸念の増大など、食品小売業の経営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような環境下、当社におきましては、第8次中期経営計画の初年度として、「スーパーではなく『ヤオコー』と呼ばれる存在へ」をメインテーマに掲げ、「商品・販売戦略」、「運営戦略」、「育成戦略」、「出店・成長戦略」の4つの課題を柱に、生活者の「豊かで楽しい食生活」の実現に向け取組んでまいりました。

商品面につきましては、新規商品開発に傾注する一方、売上上位商品や旬の素材を中心とする主力商品の磨き込みと、商品のリニューアルによる活性化に尽力いたしました。特に、生鮮部門及びデリカ部門の連携を強化した商品開発や商品化の拡充とともに、生鮮部門については生産者の皆さまと共同で鮮度・品質向上に取り組む一方、デリカ部門については商品開発や改良を鋭意進め、お客さまの支持向上につながりました。また、「Yes! YAO K O」（当社独自のプライベートブランド）の商品開発においては主にプレミアムカテゴリーのリリースを進捗させるとともに、引き続き「star select」（株式会社ライフコーポレーションとの共同開発プライベートブランド）の商品開発を進めてまいりました。

販売面につきましては、「商品育成」に主眼を置き、主力商品や旬の商品の支持拡大に注力いたしました。また、引き続き「ヤングファミリー層」（子育て世代）のお客さまからの支持拡大を図るべく、EDLP（常時低価格販売）政策を展開するとともに、ターゲットをより明確にした販促企画の充実など、FSP（フリークエント・ショッピング・プログラム）の活用をさらに深耕したマーケティング施策を展開いたしました。さらに、お客さま目線による従業員の接客意識の向上への取組みにも注力してまいりました。これらの施策の結果、既存店客数及び買上点数の増加につながり、既存店売上高が増加いたしました。なお、既存店売上高は32ヶ月連続で前年同月を上回っております。

店舗運営につきましては、作業工程の見直しやIT化・機器導入による業務効率化を推進するとともに、生産性向上についてモデル店舗での取組みの「横展開」を進めてまいりました。

店舗につきましては、4月にららぽーと富士見店（埼玉県富士見市）、7月に検見川浜店（千葉県千葉市）、11月に朝霞岡店（埼玉県朝霞市）、柏高柳駅前店（千葉県柏市）の4店舗を開設いたしました（平成27年12月末現在146店舗）。また、既存店の活性化策として、1号店である小川ショッピングセンターのスクラップ&ビルドによるリニューアルオープンを実施するとともに、北本店（埼玉県北本市）、富士見羽沢店（埼玉県富士見市）をはじめ計7店舗について大型改装を実施いたしました。

上記の結果、当第3四半期累計期間における営業収益は245,580百万円、営業利益は13,842百万円、経常利益は13,561百万円、四半期純利益は8,824百万円となりました。

なお、当社は、スーパーマーケット事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載していません。

(注)「FSP（フリークエント・ショッピング・プログラム）」とは、ロイヤルカスタマーの維持拡大を図るための販売促進に関するマーケティング政策のことで、ポイントカード等でお客さまの購買データを分析して、個々のお客さまに最も適した商品・サービスを提供すること。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ12,554百万円増加し、142,056百万円となりました。これは主に、連結子会社でありました株式会社三味を吸収合併したこと及び新規出店・改装に係る投資により有形固定資産が増加したためです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ5,445百万円増加し、74,253百万円となりました。これは主に、買掛金が増加したためです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ7,109百万円増加し、67,803百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月12日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,638	6,436
売掛金	2,083	3,453
商品及び製品	5,465	6,288
原材料及び貯蔵品	31	395
繰延税金資産	1,225	777
その他	6,393	7,319
流動資産合計	21,837	24,671
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	37,471	41,595
土地	33,780	33,967
その他（純額）	14,641	18,965
有形固定資産合計	85,893	94,528
無形固定資産	3,109	3,200
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,573	1,759
差入保証金	13,067	14,144
その他	4,019	3,751
投資その他の資産合計	18,660	19,655
固定資産合計	107,663	117,384
資産合計	129,501	142,056

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,759	23,030
短期借入金	—	1,000
1年内返済予定の長期借入金	6,035	6,604
未払費用	6,045	6,966
未払法人税等	2,865	1,867
賞与引当金	1,665	1,006
商品券回収損引当金	30	31
ポイント引当金	833	582
その他	4,402	4,065
流動負債合計	39,637	45,154
固定負債		
長期借入金	14,303	13,661
再評価に係る繰延税金負債	40	40
退職給付引当金	1,941	2,327
役員退職慰労引当金	1,150	1,217
資産除去債務	2,727	2,799
預り保証金	5,340	5,164
その他	3,666	3,887
固定負債合計	29,170	29,098
負債合計	68,807	74,253
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,199	4,199
資本剰余金	3,606	3,606
利益剰余金	59,119	66,196
自己株式	△1,387	△1,390
株主資本合計	65,538	72,613
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	161	196
土地再評価差額金	△5,006	△5,006
評価・換算差額等合計	△4,844	△4,810
純資産合計	60,694	67,803
負債純資産合計	129,501	142,056

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	234,432
売上原価	168,443
売上総利益	65,988
営業収入	11,148
営業総利益	77,137
販売費及び一般管理費	63,295
営業利益	13,842
営業外収益	
受取利息	76
受取配当金	6
その他	33
営業外収益合計	116
営業外費用	
支払利息	385
その他	11
営業外費用合計	397
経常利益	13,561
特別利益	
賃貸借契約違約金収入	2
抱合せ株式消滅差益	264
その他	7
特別利益合計	274
特別損失	
固定資産除却損	283
減損損失	177
その他	18
特別損失合計	479
税引前四半期純利益	13,356
法人税、住民税及び事業税	4,000
法人税等調整額	532
法人税等合計	4,532
四半期純利益	8,824

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

個別業績

経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	245,580	10.6	13,842	18.7	13,561	13.6	8,824	29.2
27年3月期第3四半期	222,087	13.1	11,661	20.2	11,941	17.3	6,831	6.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	227.26	—
27年3月期第3四半期	175.94	—

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。